

平成25年度の施策展開について



薩摩川内市長 岩切 秀雄

平成25年 4 月 1 日



1 市長マニフェスト

～ 7つの戦略と24の柱、110の施策～

- 1 住み心地一番のまち！（34）
- 2 市民が主役になれるまち！（10）
- 3 人材と教育・文化・スポーツが魅力のまち！（10）
- 4 産業・経済が元気なまち！（21）
- 5 次世代エネルギーのまち！（5）
- 6 将来への積極投資！（9）
- 7 「市」民の「役」に立つ市役所！（21）

2 合併10年目に向けた取組

【これまでの課題】

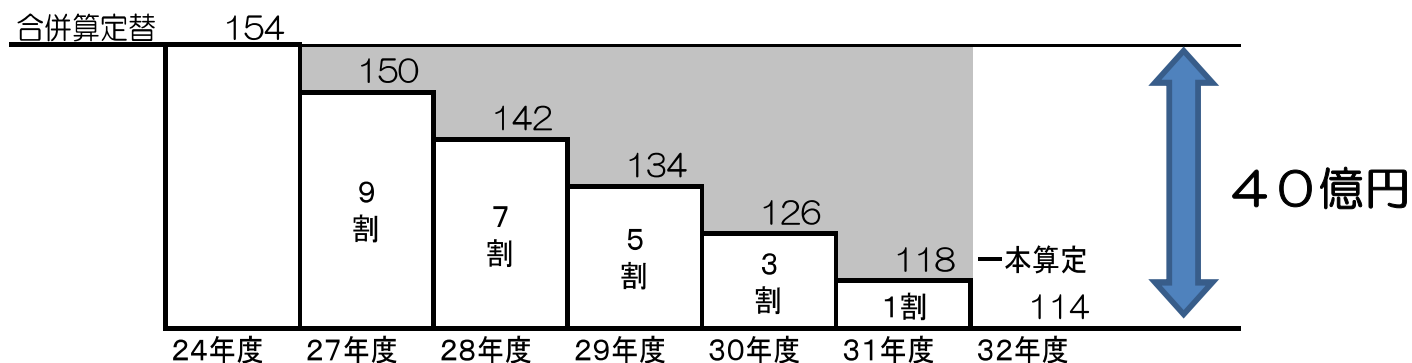
- 地域の懸案事項の解消
- 地域一体感の醸成
- 地域格差の解消

【これからの課題】

- 産業振興と雇用確保
- 人口減少、少子高齢化への対応
- 安全・安心なまちづくり

【さらに・・・】

- 平成27年度からの地方交付税合併特例措置の段階的縮減への対応



平成24年11月

薩摩川内市財政運営プログラムの策定

財政運営プログラムの5本の柱

【平成32年度までの財政運営の方向性】

① 人件費の削減

(H16) (H24) (H32)
●職員数： 1,366 → 1,132 → 1,000人以内
●人件費： ▲10億円

② 施設の統廃合

(H17) (H23) (H32)
●施設数： 1,355 → 1,230 → 1,100以内
●施設管理経費： ▲4億円

③ 普通建設事業費と維持補修費の規模の見直し

(H17) (H23) (H32)
●事業規模： 112億 → 106億 → 75億円程度
●普通建設事業の「選択と集中」を強化

④ 事業見直し

●事業見直しによる削減： ▲6.9億円
●受益者負担の適正化、積極的なアウトソーシング、補助金の削減 など

⑤ 成長戦略

●将来的な市政発展に繋がる分野への投資の重点化（2分野）
・ 未来を切り拓く地域産業の創出
・ 観光交流人口の拡大による観光産業の育成

財政運営プログラムの当初予算への反映

【平成25年度当初予算における進捗状況】

① 人件費の削減

- 人件費：約3億円の削減
- 平成24年度職員数から24名の削減

② 施設の統廃合

- 施設管理経費：約0.8億円の削減
- 平成25年度中に4施設を閉鎖

③ 普通建設事業費と維持補修費の規模の見直し

- 優先的に取り組むこととした17事業の計画的な実施
- 新たに取り組む事業：樋脇高校跡地利活用事業、東郷地域小中一貫校整備事業

④ 事業見直し

- 主な事業見直し対象事業の状況
- ア こしきお魚まつり事業 → 廃止
- イ 産業祭開催事業 → 縮小
- ウ 市民相談事務費 → 縮小
- エ 社会福祉協議会運営費補助金 → 縮小

3 当初予算

～『未来を切り拓く

地域活力創出・成長予算』を編成～



一般会計

495億9千万円（前年度比 ▲1.4%減）

※2年連続の減額予算

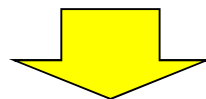
※3年ぶりに500億円を切る予算規模



特別会計 14会計 278億6千660万円（± 0.0%）



企業会計 2会計 22億7千650万円（▲13.7%減）



総額 797億3千310万円（▲1.3%減）



4 緊急経済対策

■ 緊急雇用対策事業

～草刈り等の業務を市の直接雇用で実施し、離職者等の雇用機会の創出を図る～

■ まちなかにぎわい支援事業

～中心市街地において「食」をテーマとした「市」を年6回実施～

■ 提案公募型プレミアム事業補助金

～各団体や商店街等が実施するプレミアム事業の一部を補助～

■ ホテル・旅館等プロモーション事業

～ホテル旅館組合への委託事業～

■ イベント・コンベンション誘致事業

～延べ30人泊以上のイベント、大会、研修等に対する補助～

■ 川内駅イベント事業

～川内駅と周辺飲食店を対象としたイベントを実施～



5 国の補正予算対応事業

■ 本庁舎耐震改修事業

～薩摩川内市建築物耐震改修促進計画に基づき、本庁舎の耐震改修を行う～

■ 市有建築物耐震改修事業（耐震診断）

～公共施設の安全性確認のため、市が管理する建物を対象に耐震診断を実施～

■ 道路舗装補修事業

～車両及び歩行者の安全確保や生活環境の向上を図るため、
幹線市道の舗装補修を実施～

■ 公営住宅ストック総合改善事業

～公営住宅の長寿命化と入居者の居住性向上を図るため、外壁塗装等を実施～

■ 地域経済活性化・雇用創出臨時交付金事業

～防災・減災対策として市道や施設の維持・更新に係る経費を計上～



6 政策重点項目

向こう3年間の戦略方針に基づき重点項目を設定

- ① 次世代エネルギーの導入推進
- ② 次世代エネルギー関連産業の育成と立地促進
- ③ NPO等の活動支援制度の強化
- ④ 成長戦略の展開による地域雇用の創出

①次世代エネルギーの導入推進

★地球にやさしい環境整備事業

～対象に電気自動車等充電設備等を追加～



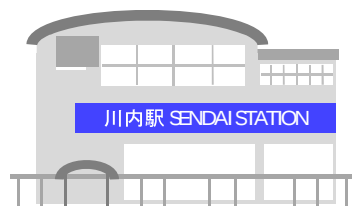
★甌島EVレンタカー導入実証事業

～エコアイランド化を目指し、甌島に電気自動車レンタカーを導入～



★スマートハウス（モデル）実証事業

～エネルギーの使い方にも配慮した生活様式の確立に向け
スマートハウスを建設し、創蓄省エネルギーの体感等の実証を行う～



★川内駅ゼロエミステーション化検討事業

～「ゼロエミッション川内駅」の実現や憩いの場の空間づくりを
検討するための調査を実施～

②次世代エネルギー関連産業の育成と立地促進

★次世代エネルギー導入促進事業支援業務委託

～関連事業者間の調整・マッチング等各種事業実施及び人材育成に

高度な知見や経験を有する外部人材を活用し、推進体制を整備する～

③ NPO等の活動支援制度の強化

★市民活動支援補助金事業

～自ら企画して公益的活動を行う市民活動団体等の
実施する事業に対する補助金～

★楽しく元気づくり支援事業【介護保険事業特別会計】

～高齢者の仲間づくりができる教室の開催を、
高齢者クラブ連合やNPO法人等に委託して実施～

④ 成長戦略の展開による地域雇用の創出

★地域資源利活用事業

～地域資源を活用した特色ある交流体験事業を実施し、
活性化やコミュニティビジネスに繋げる～

★6次産業化推進事業

～農林漁業者の所得の向上と経営の安定を目的に
6次産業化の推進に必要なビジョン策定等を実施～

★地域成長戦略対策利子補助金

～成長戦略分野に取り組む中小企業者の負担軽減のため、
支払い利子に係る補助を行う～

★新産業創造事業補助金

～中小企業の活性化や起業創出のため
異業種参入、転業、起業及び雇用にかかる経費の一部を補助～



7 その他の主な事業

- **児童福祉施設整備事業【安心こども基金事業】**

～認定こども園施設としての青山幼稚園の整備に対する補助～

- **消防庁舎等建設事業（H24～H26）**

- **消防通信指令センター総合整備事業（H24～H27）**

- **学校耐震改修事業（～H27）**

- **東郷地域小中一貫校整備事業**

～小中一貫校教育を効果的に推進するための施設整備に向けた基本計画を策定～

- **駅前白和線整備事業**

- **榎脇高校跡地利活用事業**

～市内外からの交流の促進と地域活性化のためのグランドゴルフ場とするため、
整備着手に向けた各種手続きを進める～

8 今年度の主な動き

(1) (株)薩摩川内市観光物産協会

①会社概要

設 立 平成25年4月1日

資本金 400万円（薩摩川内市、川内商工会議所、薩摩川内市商工会）

②目的

本市の観光・物産に関する顧客価値を高めながら、満足度向上と本市のイメージアップの向上を図る。

③主な事業展開

- ・ 市からの業務受託 ・ ・ ・ ・ 観光案内業務、物産販路拡大業務等
- ・ 観光誘客に伴う斡旋
- ・ 物産販売（卸・仲介） ・ ・ ・ 百貨店、県外物産館、スーパー、飲食店、食品加工会社等
- ・ 物産販売（小売り） ・ ・ ・ 百貨店・JR等での物産観光イベント

④目指すべき方向性

「挑戦と創造」を基本姿勢として、(株)まちづくり薩摩川内との連携を図りながら、平成27年度期2億円の売上達成に向けて取引先の販路拡大に着手する。

(2) 企業立地支援施策

■これまで・・・国県市の補助制度等があるものの、実際に若者等の起業を促すためには、より充実したサポート体制や制度が必要。また、それらの連動性も必要。

企業誘致に係る
補助(用地・設
備・雇用)

創業・チャレンジ
補助(※利子、
保証料補助)

空き店舗改装費
補助

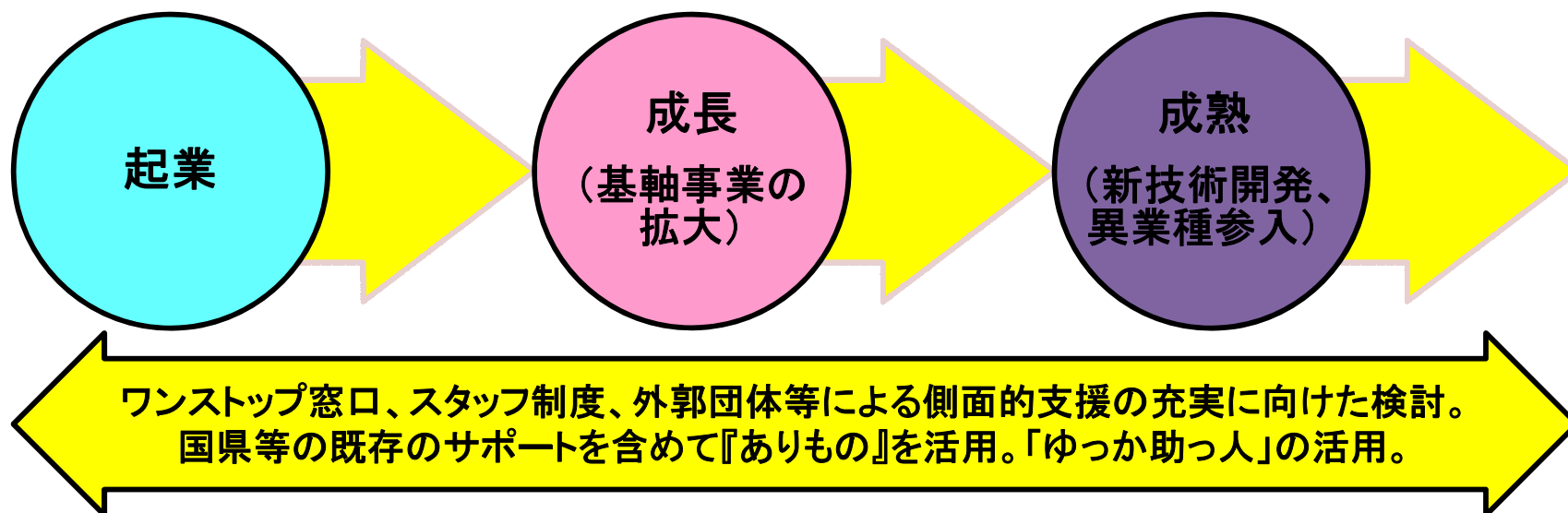
農商工連携チャ
レンジ起業支援

レンタルオフィス
(まちづくり薩摩
川内)

その他、国県等の様々なサポートが存在・・・

■これから・・・従来の企業誘致に加えて、起業や育成、異分野参入等の企業活動の活発化による雇用創出も目指す。

企業ニーズや局面に応じた連動性のあるサポート環境を整備する。



(3) 入来麓伝統的建造物群保存地区

◆旧増田家住宅

- ・平成22年度から平成24年度までの3年間かけて、瓦葺を茅葺屋根に復原する保存修理工事を実施。
- ・石蔵は、大正7年建築。1階に刻銘が残る。
- ・総事業費：2億4千97万4千円
- ・平成25年4月から公開。
- ・憩いの場、ふれあいの場、情報発信の場として本市伝建地区の拠点施設となるような活用を展開。

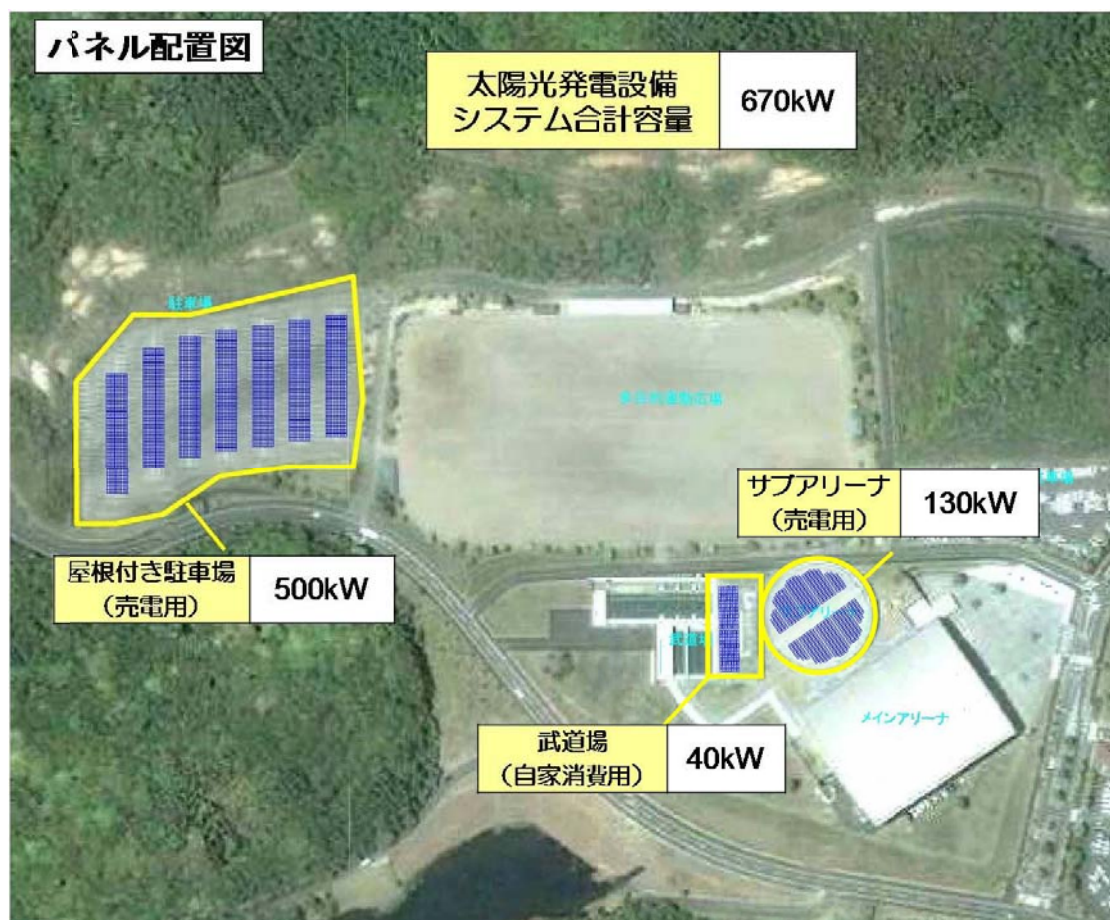


◆全国伝統的建造物群保存地区協議会総会・研修会

- ・期日：平成25年5月22日（水）～24日（金）
- ・場所：入来麓武家屋敷群ほか
- ・概要：文化庁、全国の重要伝統的建造物群保存地区を所有する自治体の首長及び担当者、地区住民等が一同に介し、総会並びに研修会を実施。
全国から約300名が参加予定。
- ・加盟：重要伝統的建造物群保存地区（平成24年12月現在、102地区）を有する82市町村が加盟。

(4) 総合運動公園防災機能強化事業

～サンアリーナせんだいが立地する総合運動公園に
太陽光発電等を導入し、防災機能を強化～



【主な仕様】

- 太陽光発電設備670kW（全量売電用630kW、自家消費用40kW）
- 自家消費分は約3.9万kWhで、同公園内施設で消費される電力の約4.5%に相当。
- 自立運転機能付パワーコンディショナーにより、停電時に売電用の太陽光発電設備から同施設内に電力を供給できる仕組みを構築。
- 電気自動車を導入し、通常時は公園内移動手段として、また、非常時や雨天時には施設への電力供給源（蓄電池の機能）として活用。

(5) 川内甌島航路



高速船 甌島 (イメージ図)

高速船 甌島
HIGH SPEED SHIP KAWACHIJIMA



※ 船体の色等、今後変更の可能性があります。



■川内甌島航路開設事業

～川内甌島航路開設に伴う新高速船建造川内港待合所整備～

■川内港シャトルバス等購入事業

～新高速船の就航にあわせ、川内駅～川内港待合所間においてEVバスを運行～

平成26年春 就航予定

(6) 南九州西回り自動車道（川内隈之城道路）建設

※薩摩川内水引 I C
～薩摩川内高江 I C
H25. 3. 10開通

※《高江猪子嶽線整備事業》
川内川橋梁歩道整備
(H20～24)

※薩摩川内高江 I C
～薩摩川内都 I C
H26供用予定



薩摩川内水引 I C



薩摩川内高江 I C

9 今年度施策展開のポイント

①次世代エネルギー

■次世代エネルギービジョン・行動計画

→『実行』へ！

- 次世代エネルギー導入促進事業支援業務委託
- 次世代エネルギー事業推進補助金 など

②観光

■(株)薩摩川内市観光物産協会

■川内甕島航路

③6次産業化

■「生産」から「加工・販売」へ

■「6次産業化推進ビジョン」策定

■推進体制の強化

雇用創出・所得向上

10 今後の主な出来事

平成26年春	川内・甕島航路 「高速船甕島」就航
平成26年10月	薩摩川内市誕生10周年
平成27年春	南九州西回り自動車道 「都IC～高江IC」間開通
平成27年秋	国民文化祭開催
平成29年	蘭牟田瀬戸架橋竣工（予定）
平成32年秋	国民体育大会開催